





<p>注意喚起語 危険有害性情報</p>	<p>: 危険 : 引火性液体および蒸気 飲み込むと有毒 皮膚に接触すると生命に危険 吸入すると有害 皮膚刺激 重篤な眼の損傷 発がんのおそれの疑い 呼吸器、肝臓、中枢神経系、腎臓の障害 呼吸器への刺激のおそれ 眠気やめまいのおそれ 長期にわたる、または反復暴露による神経系、呼吸器の障害 水生生物に非常に強い毒性 長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性</p>
<p>注意書き 【安全対策】</p>	<p>: 使用前に取扱説明書を入手すること。 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源 から遠ざけること。 容器を密閉しておくこと。 容器を接地すること/アースをとること。 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。 火花を発生させない工具を使用すること。 静電気放電に対する予防措置を講ずること。 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。 取扱い後、手をよく洗うこと。 眼、皮膚、または衣類に付けないこと。 指定された個人用保護具を使用すること。 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。 環境への放出を避けること。</p>
<p>【応急措置】</p>	<p>皮膚(または髪)にかかった場合: 直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。皮膚についた場合は多量の水と石鹸でやさしく洗うこと。直ちに医師に連絡すること。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。 飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。口をすすぐこと。 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当を受けること。 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。 暴露または暴露の懸念がある場合: 医師の診断/手当を受けること。 気分が悪い時は、医師の診断/手当を受けること。 漏出物を回収すること。</p>
<p>【保管】</p>	<p>換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。容器を密閉しておくこと。 施錠して保管すること。</p>

【廃棄】 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

### 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別	: 混合物
化学名又は一般名	: メチルイソチオシアネート (一般名: メチルイソチオシアネート)
濃度又は濃度範囲	: 20.0 % (他 80.0 % は有機溶剤等)
分子式	: $C_2H_3NS$
官報公示整理番号(安衛法)	: 2-(7)-22
(化審法)	: (2)-1687
CAS番号	: 556-61-6
分類に寄与する不純物及び安定化添加物	: データなし

### 4. 応急措置

吸入した場合	: 被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させる。多量の水、温水またはうがい薬を用いてうがいをさせ医師の手当を受ける。
皮膚に付着した場合	: 直ちに水で洗い流した後、石鹼でよく洗う。洗浄後、皮膚に異常がある場合は医師の手当を受ける。衣服類は汚染物を洗い落として着用する。
目に入った場合	: 清浄な水で15分以上洗眼した後、痛みがあれば眼科医の手当を受ける。
飲み込んだ場合	: 直ちに医師の手当を受ける。吐き出させるとかえって肺への吸引等の危険がますので吐き出させてはならない。水でよく口の中を洗わせてもよい。

### 5. 火災時の措置

消火剤	: 粉末消火剤、二酸化炭素、泡、砂など
使ってはならない消火剤	: データなし
特有の危険有害性	: 燃焼時には有毒ガス発生のおそれがある。
消火を行う者の保護	: 消火作業の際には呼吸装置を着用して、消火剤で消火作業を行う。

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	: 処理作業の際には保護具を着用し、直接触れないように注意して作業する。
環境に対する注意事項	: 漏出した物質が河川、湖沼、海域及び養殖池、植栽地、畑作地に飛散、流入しないよう注意する。
回収・中和	: 床面などにこぼれた場合は直ちに拭きとり密閉容器に収納する。
二次災害の防止策	: 飛散した場所の周辺にはロープを張るなどして、人の立ち入りを禁止する。風下では作業しない。

### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	: 「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
局所排気・全体換気	: 「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行うこと。
安全取扱い注意事項	: ラベルを良く読むこと 吸い込んだり目や皮膚に触れないよう長袖の作業衣、保護メガネ、不浸透性手袋、防護マスクを着用して、できるだけ風上から作業するようにする。作業後は手足、顔等を石鹼でよく洗い、うがいをすると共に衣服を交換する。
接触回避	: 「10. 安定性及び反応性」を参照。
保管	
技術的対策	: 消防法の規制に従う。
混触禁止物質	: 「10. 安定性及び反応性」を参照。
保管条件	: 密封し直射日光を避け、食品と区別して冷涼・乾燥したところに保管し、カ

容器包装材料 : ギをかける。盗難・紛失の際は警察に届け出る。  
: データなし

## 8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度 : ACGIH 設定されていない  
日本産業衛生学会 設定されていない

設備対策 : 局所排気装置の設置、設備の密閉化、または、全体換気を適正に行うことが望ましい。

保護具

呼吸器の保護具 : 吸気管(活性炭入り)付き防護マスク

手の保護具 : 不浸透性手袋

眼の保護具 : 保護メガネ

皮膚及び体の保護具 : 定められた作業衣、安全靴を着用する。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状態

形状 : 油状液体

色 : 淡黄褐色澄明

臭い : データなし

pH : データなし

融点・凝固点 : データなし

沸点、初留点及び沸騰範囲 : データなし

引火点 : 25.5 °C

爆発範囲 : データなし

蒸気圧 : データなし

蒸気密度 : データなし

密度(比重) : データなし

溶解度(20°C) : データなし

オクタノール/水分分配係数 : データなし

自然発火温度 : データなし

分解温度 : データなし

## 10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常の手扱い条件において安定

危険有害反応可能性

避けるべき条件 : 加熱、高温の表面、火花、裸火、混触危険物質との接触。

混触危険物質 : 強酸化剤、強酸。

危険有害な分解生成物 : 加熱によりSO<sub>2</sub>ガスを発生する。強酸化剤と反応すると、SO<sub>2</sub>ガスを発生する。酸類と接触すると反応し、シアン化水素を発生する。

## 11. 有害性情報

急性毒性 : 経口 ラット(♂♀) LD<sub>50</sub> 165 mg/kg  
(上記データより区分3とした)

経皮 ラット(♂♀) LD<sub>50</sub> 120 mg/kg  
(上記データより区分2とした)

吸入(蒸気) ATE値 4,327 mg/L (毒性未知成分 21.6 %)  
(混合物のデータはない。ATE算出値より区分4とした)

吸入(ミスト) ラットLC<sub>50</sub> 1.502 mg/L (4時間)  
(上記データより区分4とした)

皮膚腐食性・刺激性 : 皮膚刺激性 ウサギ 刺激性あり  
(上記データより区分2とした)

眼に対する重篤な損傷・刺激性 : 混合物のデータはない。区分1に分類された成分を濃度限界3.0%以上含有しているため、区分1とした。

呼吸器感作性	: データがないため、分類できないとした
皮膚感作性	: モルモット 皮膚感作性なし (上記データより区分外とした)
生殖細胞変異原性	: 混合物のデータはない本混合物の各成分区分外であるため、区分外とした。
発がん性	: 混合物のデータはない。区分2に分類された成分を濃度限界1.0%以上含有しているため、区分2とした。
生殖毒性	: 混合物のデータはない本混合物の各成分区分外であるため、区分外とした。
特定標的臓器・全身毒性 (単回暴露)	: 混合物のデータはない。区分1(呼吸器、肝臓、中枢神経系、腎臓)に分類された成分を濃度限界10.0%以上含有しているため、区分1(呼吸器、肝臓、中枢神経系、腎臓)とした。また、区分3(麻酔作用、気道刺激性)に分類された成分を濃度限界20.0%以上含有しているため、区分3(麻酔作用、気道刺激性)とした。
特定標的臓器・全身毒性 (反復暴露)	: 混合物のデータはない。区分1(神経系、呼吸器)に分類された成分を濃度限界10.0%以上含有しているため、区分1(神経系、呼吸器)とした。
吸引性呼吸器有害性	: データがないため、分類できないとした。

## 12. 環境影響情報

生態毒性	
水産動植物に対する影響	: 混合物のデータはない。 水生環境有害毒性(急性)は加算法により、区分1に分類された成分を25.0%相当以上含有しているため、区分1とした。 水生環境有害毒性(慢性)は加算法により、区分1に分類された成分を25.0%相当以上含有しているため、区分1とした。
残留性・分解性	: データなし
生態蓄積性	: データなし
土壌中の移動性	: データなし

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
汚染容器及び包装	: 農薬の空容器、空袋等の処理は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等関連法律を遵守し、適切に行う。

## 14. 輸送上の注意

国際規制	
海上規制情報	: IMOの規制に従う。
航空規制情報	: ICAO/IATAの規制に従う。
	RID                      IMDG                      IATA
国連番号	: 2903                      2903                      2903
国連分類	: 6.1                        6.1                        6.1
副次危険	: 3                            3                            3
容器等級	: II                            II                            II
海洋汚染物質	: 該当する
国内規制	
陸上規制情報	: 毒物及び劇物取締法、消防法の規制に従う。
海上規制情報	: 船舶安全法の規制に従う。
航空規制情報	: 航空法の規制に従う。
特別安全対策	: 包装、容器が破損しないように水濡れや乱暴な取扱いを避ける。

## 15. 適用法令

農薬取締法	: 第15321号 (バイエルクロップサイエンス株式会社)
毒物及び劇物取締法	: 劇物
消防法	: 第4類 第2石油類 (非水溶性)
化学物質管理促進法(PRTR)	: 第1種指定化学物質 政令番号 424 メチル=イソチオシアネート 20.0%

労働安全衛生法

第1種指定化学物質 政令番号 80 キシレン 27.4 % (代表値)  
第1種指定化学物質 政令番号 53 エチルベンゼン 51.0 % (代表値)  
: 第57条第1項名称等の表示対象物質 政令番号 7の2 キシレン 27.4 % (代表値)  
第57条の2第1項名称等の通知対象物質 政令番号 136 キシレン 27.4 % (代表値)  
第57条の2第1項名称等の通知対象物質 政令番号 70 エチルベンゼン 51.0 % (代表値)  
施行令別表第1第4号 (引火性の物)  
有機則第1条第1項第2号 (有機溶剤等)

## 16. その他の情報

---

1. 本資料の記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、記載内容は新しい知見により改訂されることがあります。
2. 記載の注意事項は通常の実施を前提とした参考情報です。取扱いの際は用途・用法に適した安全対策を実施して下さい。
3. 本資料は情報提供の目的のために作成されたものであり、その記載内容を保証するものではありません。

中毒の緊急問い合わせ先 : 財団法人 日本中毒情報センター

中毒 1 1 0 番

一般市民向け相談電話  
(情報提供料:無料)

医療機関専用有料電話  
(情報提供料:一件2,000円)

大 阪 (365日、24時間対応)

072-727-2499

072-726-9923

つくば (365日、9時~21時対応)

029-852-9999

029-851-9999